

小湊鐵道の運行本数が増加 里見駅ポイント整備事業

小湊鐵道牛久駅から養老溪谷駅方面は、列車がすれ違う施設がないため、1本の列車が往復運転することしかできませんでした。そこで里見駅ですれ違い運転ができるように、ポイント整備事業が行われました。これにより、4月に開校する加茂学園(加茂地区小中一貫教育校)への通学に対応したダイヤ編成が可能となり、同時に地域住民の足としての利便性も向上します。



すれ違い運転が可能になる里見駅

運行ダイヤは、3月16日に改正されます。新ダイヤにより牛久駅以南の運行本数は、平日の上りが5本増(10本から15本)、下りが4本増(10本から14本)、休日の上りと下りが1本増(10本から11本)になります。

思い思いに、走る 健康マラソン・駅伝大会



元気に疾走(小学1・2・3年生男子)

2月17日に市原緑地運動公園とその周辺道路で同大会を開催し、総勢369人が参加しました。タイム申告制(事前に申告したタイムと実際のタイムの差を競う)の参加者たちは、ペース配分に気を配りながら元気に走破。競争制の参加者たちは、一つでも順位を上げようと、真剣なまなざし。



親子でゴール(ペアタイム申告)

走り終えた充実感・達成感で、多くの参加者たちからは笑顔がこぼれました。

PHOTO セレクション

地元産の大豆を使って みそ造り教室

例年1月から2月にかけて、公民館やコミュニティセンターでは『みそ造り教室』を行っています。市津公民館の『男の料理教室』では、市津産の大豆を使用。県の『農山漁村いきいきアドバイザー』で講師の伊場美津子さん(永吉)は「みんなで助け合って、楽しく料理をすることができました。今回は大豆を煮るところから始めたので、また家庭でも造れると思います。ぜひ手造りのみそを味わってもらいたい」、終始笑顔で参加していた箱崎さん(潤井戸)は「みんなで一緒に和気あいあいと料理をすることは、本当に楽しいですね」と話してくれました。公民館などでは、他にもさまざまな料理教室を行っています。



ゆで上がった大豆は水気をよく切ることが大事

首都圏中央連絡自動車道 市原鶴舞 IC 周辺に記念植樹



大きく育つよう思いを込めて

伊藤理矩さんは「圏央道が開通することで、鶴舞の自慢である春の桜の美しい景色を、たくさんの人に知ってもらえるのがうれしい。植樹した木が成長するのが楽しみです」、高滝小学校の丸徹平さんは「圏央道の開通で、東京などへの移動時間が短くなります。東日本大震災のときは多くの道路が使えなくなり、さまざまな地域とつながる道路の必要性を感じました」とそれぞれ話しました。

4月27日(土)に開通する、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)・東金 JCT ~ 木更津東 IC 間。これに先立ち、3月4日に、市原鶴舞 IC 周辺で、鶴舞・高滝小学校の児童が記念植樹を行いました。

植樹の前には、両校の代表児童があいさつ。鶴舞小学校の

小域福祉ネットワーク

地域福祉ガイドブック
市では、小域福祉ネットワークや地域福祉についての理解が深められるように、このたび同ガイドブックを作りました。同ガイドブックでは、第2期市地域福祉計画の概要や、市内各地での地域福祉活動の様子など、地域福祉全般について紹介している他、これまで本コーナーに登場してきた小域福祉ネットワークについても掲載しています。ぜひ利用してください。
配布場所 保健福祉課、保健福祉センター、支所、市原市社会福祉協議会、iほっと、市ウェブサイト(ダウンロード可)
問合せ先 保健福祉課 ☎ 9768
※本コーナーは、今号で終了します。4月15日号からは、毎月1日号1面に連載中の『市民活動団体を紹介』を掲載する予定です。



Ichihara 国際通信 ~ Letter From Mobile 147 ~

1703年に始まったモビールの『マルディグラ』(断食前のごちそうと祭りの意)は、山車に乗った人々が街でパレードを行い、キャンディーやパイなどを投げます。今年のマルディグラのパレードは、1月12日からモビール郡のドーフィンアイランドで始まりました。観客は、パレードが始まる何時間も前から街道に集まり、投げられる贈り物をキャッチしやすい場所を探します。またチームに分かれて、パレードで使用する山車を造ったり、衣装を作ったりします。パレードを終えると、審査員は、発想力豊かでうまく造られた山車に投票します。最優秀チームは、ミスティック・ソサエティと呼ばれ、多くの尊敬を受けます。(今回の執筆者は、平成22年度姉妹都市青少年訪問団のメンバーだったニッキー・イダさんです。)
問合せ先 人権・国際課 ☎ 9826



盛り上がる『マルディグラ』

ホームタウン通信

なでしこ、交流戦とサッカー教室を開催



なでしこリーグの選手と触れ合う子どもたち 念願のサイン

2月14日から16日にかけて、なでしこリーグ所属のジェフユナイテッド市原・千葉レディースや岡山湯郷 Belle、浦和レッズレディースなど、計7チームがスポレクパークで交流戦を開催しました。最終日には市内の小学1~3年生を対象としたサッカー教室も開催され、参加した子どもたちはなでしこの選手と楽しく触れ合いました。
問合せ先 スポーツ振興課 ☎ 9851